

令和5年5月22日

保健福祉局総務課（582-2403）

令和5年度予算案 保健福祉施策の充実

令和5年度は、交流機会の減少や運動不足といった、コロナ禍の影響からの回復を図りつつ、市民主体の健康づくりや介護予防、認知症支援の取り組みをより一層推進し、健康で長生きできる共生のまちづくりを目指します。

また、令和4年度に引き続き、社会的孤独・孤立対策や、生活困窮問題など、喫緊の課題である地域福祉の再構築に取り組むとともに、障害者の地域生活を支援する施策の推進等により、安全・安心な住みよいまちづくりに向けた取り組みを推進します。

I 令和5年度保健福祉局当初予算案 規模

(単位：千円)

	令和5年度 当初予算案	令和4年度 当初予算	対前年度 増減額
一般会計	182,038,879	169,316,942	12,721,937
国民健康保険 特別会計	100,422,000	99,250,000	1,172,000
介護保険 特別会計	109,286,000	106,796,000	2,490,000
後期高齢者医療 特別会計	18,260,000	17,389,000	871,000
食肉センター 特別会計	341,000	330,000	11,000
市立病院機構病院事業債管理 特別会計	5,470,400	2,477,400	2,993,000
病院事業（企業会計）	808,400	814,680	▲ 6,280
保健福祉局 総計	416,626,679	396,374,022	20,252,657

II 重点的に取り組む主な事業と予算額

1 健康づくりの推進、疾病の予防

交流機会の減少や運動不足といったコロナ禍の影響からの回復とともにさらなる健康寿命の延伸を図るため、健康づくり等の普及啓発や口腔ケアなど、市民主体の健康づくりを推進する。

(1) **新規**健康寿命の延伸に向けたオーラルヘルスケア関連事業

25,500 千円

■ **新規**歯周病予防推進事業

2,000 千円

健康で質の高い生活を営むうえで、口腔の健康の保持・増進が重要な役割を果たすことから、歯周病検診の自己負担額を減額し、受診率の向上及びかかりつけ歯科医の定着を図る等により歯周病予防を推進する。

■ **新規**働く世代のオーラルヘルス推進事業

3,500 千円

生涯を通じた切れ目のない歯科口腔保健の推進に向け、希望者が郵送による歯周病簡易検査を行うことで、就労世代に歯科医療機関を受診するきっかけづくりを推進する。

■ **新規**ICTを活用した子育て支援（歯科健診関連）事業

20,000 千円

きたきゅう子育て応援アプリを活用し、子育て支援に係る歯科健診を機能追加することで、利用者の負担軽減を図るとともに、妊娠・出産・子育て期の切れ目のないサポートを実施する。

(2) **新規**健康リテラシー向上事業

2,500 千円

市民の健康への関心を高めるため、そして、市民一人ひとりが健康に関する正しい情報を取り入れ、理解し、活用することができるよう、健康づくりに理解、知識を有する著名人による「講演会」を開催する。

(3) **新規**健康で持続可能な社会を目指す健康づくりプランの策定

2,700 千円

市民の健康寿命延伸のため、有識者、関係者、市民から幅広い意見を聞きながら、健康づくり推進プラン及び食育推進計画の次期計画を策定する。

2 市民に寄り添う住みよいまちづくりの推進

高齢者や障害のある人が、住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らせるまちづくりに向け、理解促進や人材確保、基盤整備などに取り組む。

また、NPO 法人や社会福祉団体等などと連携・協働した孤独・孤立対策など、地域福祉の強化に引き続き取り組む。

(1) **継続**生涯安心して暮らせる社会に向けた「いきいき長寿プラン」の策定 3,567 千円

保健・医療・福祉などの高齢者施策を総合的に推進するため、有識者、関係者、市民から幅広い意見を聞きながら、いきいき長寿プランの次期計画を策定する。

(2) **新規**認知症にやさしいまちづくり事業 1,000 千円

認知症の人やその家族の今後の生活や認知症に関する不安の軽減を目的として、認知症の人にもやさしいデザインの知識や理解を広める取組を実施し、暮らしやすい環境づくりを推進する。

(3) **新規**在宅医療普及啓発事業 7,500 千円

在宅医療の理解と普及を促進するため、現状の調査・分析や講習会など、理解・知識を深める取組を実施する。

(4) **拡充**「みらいつなぐ」介護のしごと魅力発信事業 7,089 千円

介護のしごとに対するネガティブイメージを払拭し、認知度の向上やイメージアップを図ることで、介護人材のすそ野を拡大し、多様な人材の参入を促進する。

(5) **拡充**先進的介護「北九州モデル」推進事業 60,000 千円

介護現場の働き方改革を推進するため、ICT・介護ロボット等を活用した「北九州モデル」の普及を図り、先進的介護の実効性を高めるとともに、新たに周辺業務を担う介護助手を確保する仕組みづくりを検討する。

(6) **新規**共生社会の実現に向けた「(次期)障害者支援計画」の策定 2,800 千円

障害のある人の自立及び社会参加の支援等を推進するため、有識者、障害者団体、障害のある人、障害福祉サービス事業者などで構成された障害者施策推進協議会の幅広い意見を聞きながら、障害者支援計画の次期計画を策定する。

- (7) **新規**障害者意思決定支援推進事業 2,200 千円
障害のある方が自らの意思で自分らしく地域生活を営むことができるよう、意思決定を支える環境の整備を図るため、意思決定支援の普及啓発等を実施する。
- (8) **新規**重層的支援体制整備への移行準備事業 14,200 千円
孤独・孤立の問題の解消に資する、人と人との「つながり」を実感できる社会環境づくりを目指し、複合的な課題を抱える当事者を包括的に支える重層的支援体制整備事業の活用に向けた移行準備事業を実施する。
- (9) **拡充**家計改善支援事業の強化 26,709 千円
物価高騰の影響により経済的に困窮している世帯を支援するため、相談体制を強化し、家計管理に関する相談や指導、貸付のあっせんをするとともに、ひとり親家庭向けセミナー等を実施する。
- (10) **拡充**自殺対策強化事業 6,000 千円
心の健康づくりに関する普及啓発やハイリスク者への支援、地域におけるゲートキーパー養成研修、検索連動型広告の実施など、関係機関と連携しながら、総合的な自殺対策を進める。

3 ウィズコロナ・ポストコロナへの対応

ワクチン接種による効果等も踏まえつつ、感染症法上の分類見直しに応じた新型コロナウイルス感染症対策に取り組む。また、コロナの影響等を受けた生活困窮者への経済的支援も継続する。

新型コロナウイルス対策関連予算総額 13,296,600 千円

(令和5年度当初予算額 9,826,600 千円)

(令和4年度予算繰越額 3,470,000 千円)

※新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業については、令和4年度予算からの繰越額を含めて掲載しています。

- (1) **継続福祉施設等に対する検査支援事業** 220,000 千円
新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、希望する高齢者施設等の従事者等に対し、抗原検査キットを配布する。
- (2) **継続感染症対策事業** 300,000 千円
新型コロナウイルス感染症患者の入院治療費の患者負担相当額(保険適用後)を公費で負担する。
- (3) **継続保健所機能強化事業** 345,000 千円
新型コロナウイルス感染症に係る陽性者対応を円滑に行うため、相談機能の充実など保健所機能を強化する。
- (4) **継続新型コロナウイルス感染症患者への自宅療養支援事業** 325,000 千円
高齢者等高リスク者で悪化が疑われる自宅療養者へのオンライン診療・往診・訪問看護等の医療提供体制を整備する。
- (5) **継続新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業** 6,722,000 千円
(うち、令和5年度当初予算 3,252,000 千円)
新型コロナワクチンの接種について、高齢者・基礎疾患患者及び医療従事者・施設従事者を対象とした令和5年春開始接種、及び初回接種完了者を対象とした令和5年秋開始接種等の各接種を迅速かつ円滑に推進する。
- (6) **継続生活困窮者自立支援事業(新型コロナ対応)** 44,000 千円
新型コロナウイルス感染症や物価高騰等の影響により経済的に困窮する世帯に対して、相談体制の強化や住居確保給付金の支給などの支援をする。

令和5年度国民健康保険特別会計予算（案）

1 本市国保の現状

被保険者数	令和5年度予算	令和4年度予算	令和3年度予算
一般	179,623人 ▲3.5%	186,095人 ▲3.8%	193,353人 ▲0.6%

※下段は対前年度伸び率

2 令和5年度予算（案）の概要

新型コロナウイルス感染症の影響による受診控えが解消したこと等により、1人当たり医療費の高い状態が今後も継続することが想定されることから、保険給付費は11億円増額となった。

団塊の世代の後期高齢者医療制度への移行による被保険者数の増の影響もあり後期高齢者支援金等分の納付金が増となったことなどから、国民健康保険事業費納付金は3.1億円増額となった。

予算総額は、1,004億円で、前年度より12億円の増加し、繰入金は、111億円で、前年度より2億円の増加となった。

(1) 予算総額 (単位：千円)

項目	令和5予算 (A)	令和4予算 (B)	増減 (A)－(B)	対前年度比
歳入・歳出総額	100,422,000	99,250,000	+1,172,000	+1.2%

(2) 主な歳入 (単位：千円)

項目	令和5予算 (A)	令和4予算 (B)	増減 (A)－(B)	対前年度比
保険料	15,157,168	14,872,052	+285,116	+1.9%
国・県支出金	73,462,875	72,794,716	+668,159	+0.9%
一般会計繰入金	11,096,537	10,867,612	+228,925	+2.1%

(3) 主な歳出 (単位：千円)

項目	令和5予算 (A)	令和4予算 (B)	増減 (A)－(B)	対前年度比
保険給付費	72,744,030	71,693,838	+1,050,192	+1.5%
国保事業費納付金	25,252,806	24,946,633	+306,173	+1.2%

(4) 1人当たり保険料 (単位：円)

項目	令和5予算 (A)	令和4予算 (B)	増減 (A)－(B)	対前年度比
医療分	57,500	54,983	+2,517	+4.58%
後期高齢者支援金分	23,017	20,577	+2,440	+11.86%
介護納付金分※	23,387	22,544	+843	+3.74%

※40～64歳に限る

令和5年度介護保険特別会計予算(案)

◆予算総額について

(単位:千円)

		令和5年度予算	令和4年度予算	増減(R5-R4)
予算総額		109,286,000	106,796,000	2,490,000
主な 歳入 内訳	一般会計繰入金	17,189,372	16,458,201	731,171
	介護保険料	19,015,117	19,085,491	▲70,374
	国県等支出金	70,471,296	68,792,330	1,678,966
主な 歳出 内訳	保険給付費	101,268,825	98,527,679	2,741,146
	地域支援事業費	5,185,054	5,403,729	▲218,675

※ 歳入、歳出内訳は、抜粋した金額であり、予算総額とは一致しない。

◇令和5年度介護保険特別会計は、後期高齢者の増加に伴う保険給付費の増額等により、前年度予算に対し、約25億円の増となっている。

◇一般会計繰入金は、給付費の増などに伴い約7億円の増加となっている。

地域支援事業の取組み

◇高齢者が要支援・要介護状態となることを予防するとともに、その軽減や悪化の防止を図り、可能な限り地域において自立した生活を送ることができるよう支援する。

◇高齢者が、住み慣れた地域で安心して生活を継続していくことができるよう、地域のニーズ等を踏まえた支援を行うとともに、介護保険事業の運営の安定化を図る。

【具体的な取組の例】

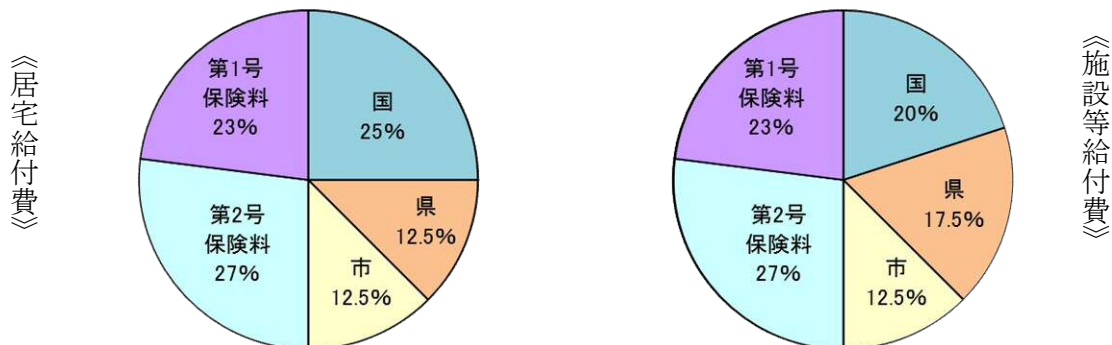
<地域介護予防活動実践者支援事業>

高齢者が新しい生活様式に対応し、自宅等でも介護予防活動を継続できるよう、オンラインを活用した介護予防教室(きたきゅう体操等)をモデル実施する。

<成年後見制度利用支援事業>

判断能力が不十分な高齢者が地域で安心して暮らせるよう、成年後見制度の利用を促進し、高齢者の権利を保障する観点から、引き続き生活困窮者に対する「審判請求費用」や「後見人等報酬」の助成を行う。

<参考> 介護保険給付費の費用負担割合



令和5年度後期高齢者医療制度に係る予算（案）

1 後期高齢者医療の現状

	R5 年度予算	R4 年度予算	R3 年度予算
被保険者数（本市分）	160,075 人 2.2%	156,560 人 3.2%	151,746 人 0.5%
一人当たり医療給付費（福岡県）	1,101,238 円 0.36%	1,097,260 円 ▲0.34%	1,101,030 円 0.48%

※下段は対前年度伸び率

団塊の世代が後期高齢者へと移行することから、被保険者数は引き続き増加傾向にある。また、令和5年度の一人当たりの医療給付費も、医療の高度化等により増加すると見込まれている。

2 後期高齢者医療に係る予算

（1）特別会計

後期高齢者医療は、県内市町村が加入する福岡県後期高齢者医療広域連合が財政運営を行っており、保険料も広域連合が決定する。

① 予算総額 182 億 6,000 万円（対前年度比 8 億 7,100 万円の増）

主な増加項目は、保険料負担金（7 億 9 千万円増）、保険基盤安定負担金（1 億 2 千万円増）。

② 保険料

保険料の改定は2年に1度のため、令和5年度の保険料は前年度と同様である。令和4・5年度の一人当たり医療給付費は、令和2・3年度と比較して増加する見込みであるものの、広域連合において剰余金等を活用して保険料率を引き下げた事等から、一人当たり保険料額は減少している。

	R4・5 年度	R2・3 年度	増 減
一人当たり 保険料 (年額)	81,731 円	82,509 円	▲778 円

③ 一般会計繰入金

低所得者等の保険料を軽減するための「保険基盤安定負担金」が 1.2 億円増加し、「事務費繰入金」が 0.1 億円増となる。

	R5 年度	R4 年度	増 減
保険基盤安定繰入金	39.1 億円	37.9 億円	1.2 億円
事務費繰入金	9.6 億円	9.5 億円	0.1 億円

（2）一般会計

後期高齢者の医療給付費については、市町村が12分の1を負担することとなっている。被保険者の増加による医療給付費の伸びにより、対前年度 6.7 億円の増加となっている。

	R5 年度	R4 年度	増 減
後期高齢者医療義務	150.5 億円	143.8 億円	6.7 億円

掲載事業 担当課一覧

事業名	担当課	電話番号
-----	-----	------

1 健康づくりの推進、疾病の予防

(1)	新	健康寿命の延伸に向けたオーラルヘルスケア関連事業	健康推進課	093-582-2018
(2)	新	健康リテラシー向上事業	健康推進課	093-582-2018
(3)	新	健康で持続可能な社会を目指す健康づくりプランの策定	健康推進課	093-582-2018

2 市民に寄り添う住みよいまちづくりの推進

(1)	拡	生涯安心して暮らせる社会に向けた「いきいき長寿プラン」の策定	長寿社会対策課	093-582-2407
(2)	新	認知症にやさしいまちづくり事業	認知症支援・介護予防センター	093-522-8765
(3)	新	在宅医療普及啓発事業	地域医療課	093-582-2678
(4)	拡	「みらいつなぐ」介護のしごと魅力発信事業	介護保険課	093-582-2771
(5)	拡	先進的介護「北九州モデル」推進事業	先進的介護システム推進室	093-582-2712
(6)	新	共生社会の実現に向けた「(次期)障害者支援計画」の策定	障害福祉企画課	093-582-2453
(7)	新	障害者意思決定支援推進事業	精神保健・地域移行推進課	093-582-2439
(8)	新	重層的支援体制整備への移行準備事業	地域福祉推進課	093-582-2060
(9)	拡	家計改善支援事業の強化	地域福祉推進課	093-582-2060
(10)	拡	自殺対策強化事業	精神保健福祉センター	093-522-8729

3 ウィズコロナ・ポストコロナへの対応

(1)	継	福祉施設等に対する検査支援事業	感染症医療政策課	093-582-2430
(2)	継	感染症対策事業	感染症医療政策課	093-582-2430
(3)	継	保健所機能強化事業	感染症医療対策課	093-522-8711
(4)	継	新型コロナウイルス感染症患者への自宅療養支援事業	感染症医療政策課	093-582-2430
(5)	継	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業	感染症医療政策課	093-582-2430
(6)	継	生活困窮者自立支援事業（新型コロナ対応）	地域福祉推進課	093-582-2060

特別会計・企業会計

国民健康保険特別会計	保険年金課	093-582-2415
介護保険特別会計	介護保険課	093-582-2771
後期高齢者医療特別会計	保険年金課	093-582-2415
食肉センター特別会計	食肉センター	093-521-0172
市立病院機構病院事業債管理特別会計	地域医療課	093-582-2678
病院事業会計	地域医療課	093-582-2678